

上野幌・青葉地域 北側部会 ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

第 10 回部会について

11月26日（月曜日）午後1時から、上野幌小学校で第10回部会を開催し、「新しい小学校」の校名検討や青葉小学校跡活用の進め方について検討を行いました。

新しい小学校の校名案が決定しました

《新しい小学校の校名案》

しんさっぽろ

しょうがっこう

新札幌わかば小学校

選考理由

- 新しい学校の校区は、新さっぽろ駅周辺に位置しており、両校の子どもたちや地域の人たちにとって「新札幌」は地域を表す言葉として長く親しまれている。
- 札幌市の副都心である「新札幌」の名称を用いる初めての校名となる。新札幌の「新」は、新しい時代にふさわしい清新さが感じられ、新しい学校が誕生することや、新しいことに挑戦していく姿を表現している。
- 「わかば」には、子どもたちが生き生きと育っていくことへの願いが込められており、卒業生が青葉中学校へ進学することを、若葉が青葉に育っていく様子に例え、小学校から中学校へのつながりを表現している。

新しい校名の検討内容は2～6ページをご覧ください

新しい学校の校名 (検討)

第9回上野幌・青葉地域北側部会において絞り込みを行った7つの校名案と事務局が作成した選定理由は以下の通りです。前回部会後に事務局に寄せられた意見を合わせて検討を行いました。

	校名案	選定理由
①	厚別双葉	<ul style="list-style-type: none"> ●双葉が葉を大きく広げながら成長していくように、2校の子どもたちが一緒になり、仲良く伸び伸びと成長してほしいという願いが込められている。 ●将来的に青葉中学校との小中一貫校を目指す気持ちを込めて、「双葉」が成長して「青葉」になるという意味で、小学校から中学校への繋がりを表現している。 ●校名に「厚別」を付けることにより、学校の所在地がわかりやすい（以下、①～④案まで共通）。
②	厚別緑	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校が、たくさんの公園や緑地、陽だまりロードなどの豊かな自然に囲まれていることを表現している。 ●応募のあった校名案には、この地域の緑豊かな自然を題材にしたものが数多くあり、「緑」は子どもから大人まで親しみやすい言葉である。
③	厚別未来	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校の子子どもたちが、新しい時代、未来に向かって、楽しく元気に歩いていくことへの希望が込められている。 ●子どもたちの成長が、学校や地域の未来の発展に繋がってほしいという願いが込められている。
④	厚別若葉	<ul style="list-style-type: none"> ●若葉のように生き生きとした子どもたちが育っていくことへの願いを表現している。 ●卒業生が青葉中学校へ進学することを、若葉が青葉に育っていく様子に例え、小学校から中学校へのつながりを感じさせる。
⑤	翔南	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校の子子どもたちが、自由に伸び伸びと成長し、未来に向かって大きく羽ばたいてほしい、空高く飛躍してほしいという想いを「翔」に込めて、新しい学校が厚別南に位置していることを「南」で表現した。
⑥	新さっぽろ南	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校は、新さっぽろの南側に位置しており、子どもたちや地域の人たちにとって親しみやすく、他地域からも場所がわかりやすい。 ●札幌市の副都心である「新さっぽろ」の名称を用いる初めての校名となり、厚別区を代表する学校になってほしいという願いが込められている。 ●新さっぽろの「新」からは、新しい時代にふさわしい清新さが感じられ、新しい学校が誕生することや、新しいことに挑戦していく姿を表現している。
⑦	陽だまり (ひだまり)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい学校は、両校の子どもたちや地域にとってなじみがある「陽だまりロード」と接する場所に位置しているため。 ●子どもたちの笑顔があふれる「陽だまり」のような学校になってほしい、温かい心を持った子どもたちになってほしい、という願いが込められている。

※理由については、応募用紙に記載いただいた主な理由と、部会の中で委員から挙げられた理由を合わせてまとめました。

地域の皆さまから 寄せられた意見 (報告)

前回部会の開催後、地域の方々から寄せられた校名案について
のご意見について、事務局から報告がありました。

●「新さっぽろ南」

①～④の厚別〇〇の校名は、〇〇の部分は新しいイメージの言葉ですが、厚別北小や厚別通小があるので別の名前の方が覚えやすいと考えます。

⑤ 翔南は“しょうなんしょう”という音の響きになり、あまりいい名前に聞こえないこと、子どもが書きづらいこと、場所などを連想しにくいことから不適切と考えます。

⑥ 「新さっぽろ」に南とつくことでおおよその位置が伝わると思います。また、新さっぽろという名前が学校名にないため、新しい学校名にふさわしいと思います。

⑦ 陽だまりロードが近隣住民にしか認知度がなく、場所の連想がしにくいと思います。

(平成30年10月28日 メール)

●「新さっぽろ+〇〇」

厚別〇〇の学校が既に多数あり、新鮮さに欠けることから、新さっぽろが良いと思います。新さっぽろの「新」は新しい時代にふさわしい清新さを感じることができ、新さっぽろを用いた既存校がまだ無いことから、「新さっぽろ(札幌)+〇〇」の形が良いのではないかと思います。「厚別+〇〇」として挙げられた4候補全てを「新さっぽろ〇〇」とするなら、どれでも良いと考えます。〇〇の部分はできれば一文字の方がいいと思います。

またどうしても青葉の「葉」にこだわりすぎるようにも感じます。

正直、統合閉校は衝撃であり受け入れがたい思いがあります。共栄小学校の青葉町校区(1、2丁目)を再度青葉小の校区に再編、存続することが個人的には望ましいと考えています。

(平成30年10月29日 メール)

●「地域の語源を尊重するべき」

7案の中にふさわしい校名案がない。アイヌ語由来の地名のような、地域の語源を尊重したような校名が良いと思います。

(平成30年10月31日 電話)

●「新さっぽろ」

「新さっぽろ南」は、他に新さっぽろがつく校名がないのに、南を付けて名前を長くする必要はないと思います。新さっぽろ小の方が子どもたちに馴染みやすく呼びやすいと思います。

(平成30年11月3日 メール)

●「厚別若葉(わかば)」「厚別双葉(ふたば)」

石山地区の新設校名が石山緑小学校であるため、「厚別緑」は避けた方がいいと思います。青葉中学校との繋がりを重視して「厚別若葉」か「厚別双葉」が説得的であると思います。

また、漢字が4文字続くよりは「厚別わかば」または「厚別ふたば」とひらがなを交えた方がやわらかな印象で、子どもたちにとって親しみやすく、他の地域にある「～～若葉小学校」または「～～双葉小学校」と違う独自性を出せるものと思います。

(平成30年11月20日 FAX)

●「新さっぽろ南」

厚別〇〇小学校はすでに複数校ある。新さっぽろと付く地名はないが、校名として使われていないので良いと思います。翔南は所在地がわからないと思います。陽だまりは老人ホームを連想させると思います。

(平成30年11月26日 メール)

◆ 検討経過

校名候補7案の中から新しい学校名を選考するにあたり、様々な観点から議論が行われました。

【地域・場所を表す名称について】

前回部会（第9回部会）では、学校のある地域が分かりやすいよう、校名に「厚別」もしくは「新札幌（新さっぽろ）」を付けることについて検討いたしました。その結果、商業施設の名称である「新札幌」ではなく、基本的に「厚別」を付けたほうが、地域の名前として分かりやすいと考えて、「厚別」を多く取り入れて校名案7案を選びました。

しかし、地域の皆さまから寄せられた意見等によると、地域・場所を表す名称としては「新札幌（新さっぽろ）」がふさわしいという声が多かったことも考慮し、改めて「厚別」と「新札幌（新さっぽろ）」のどちらを付けるべきかについて検討を行いました。

【委員意見】

- 地域から寄せられた意見には「新札幌」が付くものが多い。
- 「新札幌」の名称はJRや地下鉄、バスターミナルなどに使われており、広く知られている。厚別で一番の学校を目指すためにふさわしい名前だと思う。
- 「新札幌」は、初めは商業施設としての名称だったが、校名として使ってはいけないというものではない。地下鉄等の駅名となっていることから、「新札幌」のみで地域を判別できる。
- 「新札幌」よりも、従前からある「厚別」を残すほうが、歴史的なことを考えても良いのではないか。
- いろいろな方に意見を聞いたところ、「新札幌」という地名をつけてほしいという声が大多数だった。「新札幌」という響きに愛着がある。
- 新札幌駅とは離れた場所にも「新札幌〇〇」という名前が付く施設等はある。徐々に校名として定着するので、駅からの距離は気にしなくて良いと思う。
- 新札幌に近い学校が他にもあることなどを考えると、「新札幌」だけではなく、後ろに何か付けた方が良い。
- 「新札幌」だけだと場所のイメージが強すぎるので、それにプラスして、新しい学校に対しての思いがミックスされると良い。
- （地域・場所を表す名称を「厚別」として、候補7案を決めているが）「新札幌+〇〇」の形で、前回絞られた7案を組合せるのが良いと思う。〇〇には学校が目指していく姿を表現できるような言葉が良いと思う。
- 委員みんなで議論を尽くした結果、「新札幌+〇〇」という校名案が良いという意見となった。当初の7案にも一長一短がある中、「新札幌+〇〇」も含めて検討したい。

※紙面の都合上、表記は「新札幌」に統一しております。

上記のような議論を行った結果、以下の検討方針を定めました

● **地域・場所を表す名称は「新札幌（新さっぽろ）」とする。**

※なお、校名案は「新札幌（新さっぽろ）+〇〇小学校」とし、「〇〇」の部分は候補7案から選択することとする。

【「新札幌（新さっぽろ）+〇〇」について①】

地域・場所を表す名称を「新札幌（新さっぽろ）」とした上で、「〇〇」について7つの校名案の中から検討を行いました。校名案を推薦する理由、推薦しない理由を明確にしながらい見交換を行うことにより、校名案の絞り込みを行いました。

【委員意見】

- 子どもたちの将来を考えたときに、自由に伸び伸びと成長し、未来に向かって羽ばたいてほしいという気持ちが全部入っているので「翔南」が良い。
- 「双葉」は2校が一緒になり仲良く育っていくイメージがあり良いと思う。北海道内には「双葉」のつく校名がいくつかあるが、それほど多くなく、札幌市内にはない。
- 緑が多い地域であることと、小学校から中学校への繋がりを感じさせるという点で「若葉」が良いと思う。
- 新札幌の南側にあるということで、シンプルに「新さっぽろ南」が良いと思う。
- 「南」だけでは違いが見えてこない。思いを込めるほど重たいものではないが、イメージを込めるということで「若葉」が良いと思う。
- 「双葉」と「若葉」の選定理由には、どういう学校をこれから目指していくかが、何か示されているような感じがする。
- 「双葉」は2校がくっついたイメージがあり、いつまでも統合の印象を残さないためには、「双葉」はふさわしくないと思う。「緑」はすでに数箇所の校名で使われているため、「若葉」が良いと思う。
- 「南」は太陽を連想させ、「陽だまり」の意味を込められる。「青葉」「上野幌」「厚別」といった、既存の名前を使わないというところから校名を検討した経緯からすると、「新さっぽろ南」が良いと思う。
- 今、子どもたちに共生感が足りなくなっていると感じる。せっかく一緒になるのだから、仲良くなろうという雰囲気を作るためにも、二つが一つになるという意味で「双葉」が付くと良い。
- 「双葉」はいい名前だが、二つのものが一緒になった印象がある。元青葉や元上野幌という印象は、早く払拭できたらいいのかなという思いがある。
- 新札幌のどこにあるかをわかりやすくするために、「新さっぽろ南」が良い。ある程度は場所が想定できる方が良いと思う。
- 校名が長くなることへの懸念はあるが、真駒内桜山小学校（まこまないさくらやま）のように10文字程度の校名は存在する。親しみやすい名前であれば長くてもいいと思う。

7つの校名案について、議論を重ねる中で、以下の2案に候補が絞られました。

- ① 新さっぽろ南小学校（新札幌みなみ小学校）
- ② 新さっぽろ若葉小学校（新札幌わかば小学校）

【「新札幌（新さっぽろ）+〇〇」について②】

2つの校名案「新さっぽろ南（新札幌みなみ）」「新さっぽろ若葉（新札幌わかば）」について、校名の表記（漢字、ひらがな、カタカナ）も含めて比較検討を行いました。

【委員意見】

- 単純に呼びやすいし、イメージ的にもいいので「新さっぽろ南」が良いと思う。
- 子どもたちが自分たちの学校のことをどのように呼ぶかを想像すると、「南」よりは「若葉」のほうが良い。
- 「葉」という漢字は画数が多いため、保護者の視点に立つと、教科書等に校名を何度も記入する際に負担になる。
- これから未来にいろいろな方向性を持って、可能性を秘めた小学校にするためには、あまりイメージが強すぎない「南」が良い。
- 場所がわかりやすい「南」が良いと思う。学校への想いは校歌や学校目標に込めることができる。
- 単なる地名よりは、「若葉」のような想いをこめられる言葉が良い。
- これからもっと新札幌は発展するはず。新札幌が大きくなったときに、学校の場所が厚別南にあるので、「南」が良いと思う。
- これまでは「青葉」地区と「南」地区がそれぞれの地区を出ないようにして、交通安全の見守り活動をしていた。これからのことを考えると「南」を外して「若葉」にした方が良い。
- 「葉」の漢字は青葉地区の印象が強くなってしまっているので、「わかば」をひらがなにして、「新札幌わかば」という表記が良いと思う。
- 「南」にするのであれば漢字、「わかば」であればひらがなが良いと思う。
- 「南」と「若葉」は部会の中で議論し尽くし、どちらも想いの詰まった名前である。ただ、「南」という言葉に議論を尽くした想いを込められるか不安である。生き生きと伸び伸びと育つイメージを子どもたちに持ってもらうため、「若葉」が良いと思う。

<決定事項>

- ・新しい学校の校名案を新札幌わかば小学校とする。
- ・新しい学校名と選定理由を記載した意見書を作成し、部会代表から札幌市教育委員会教育長へ提出する。

今後の検討の進め方 について（検討）

前回部会において「青葉小学校の跡活用について、現在の北側部会とは別な枠組みで検討を行う」ことが決定していました。今回の部会では事務局案を基に、委員の構成について検討を行いました。

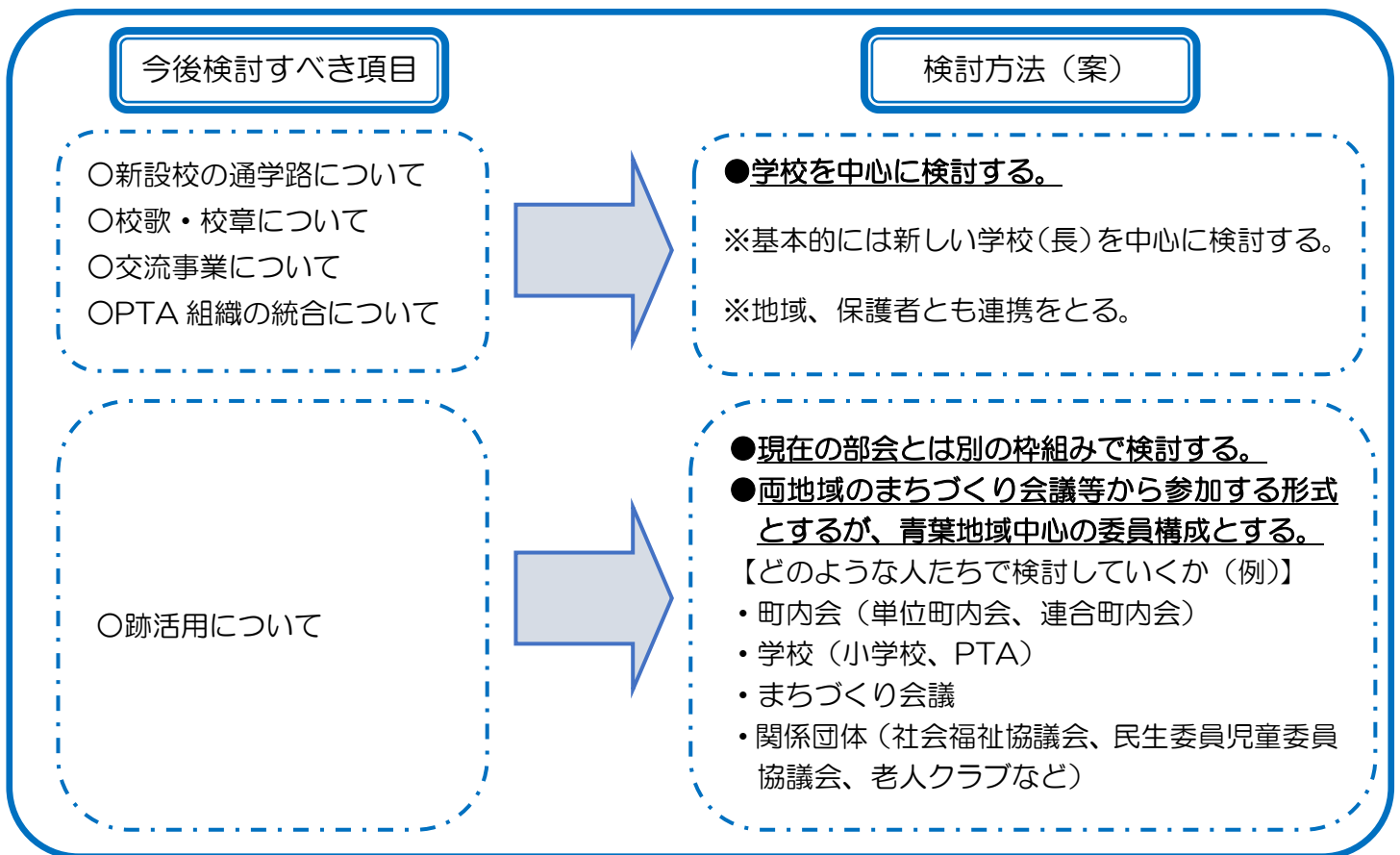
◆地域の皆さまから寄せられた意見（報告）

青葉小学校を取り壊して高層マンションを建てるのはやめてほしいです。高齢者が多い地域であり、大地震が起きた際、市営住宅やマンションはエレベーターが使えない等の支障があるため、近くに避難所があった方がよいと思いました。その他、投票所、体力作りや娯楽の場所としての開放、子どもたちの屋内の遊び場としての開放があるとよいと思います。

また、買い物が不便とおっしゃる方もいます。青葉小学校付近には元々市場や商店街や病院もあったので、流行の学校カフェを作ったり、書店、雑貨屋のようなお店があると青葉町も少しは賑わうのではないのでしょうか。高齢者が少しでも歩くなどの運動に繋がるかな？という提案でした。青葉小学校が閉校するのは悲しいです。

（平成30年11月26日 メール）

◆事務局案



<決定事項>

- ・青葉小学校跡施設は、青葉地域だけでなく上野幌も含めた地域共有の財産なので、両地域のまちづくり会議から参加する形式で跡活用の検討を行う。
- ・青葉地域から学校がなくなることを考慮して、青葉地域中心の委員構成とする。具体的な委員構成については次回部会で検討する。

青葉小学校の通級指導教室の移転について（報告）

現在青葉小学校に設置されている「通級指導教室（まなびの教室・ことばの教室）」は、新設校が開校する平成32年4月にひばりが丘小学校（厚別区厚別中央2条4丁目）へ移転することとなりました。

青葉小学校通級指導教室の保護者向け説明会はすでに実施しており、今後も関係者への説明や周知を行っていく予定です。

学校設置条例の改正について（報告）

平成32年3月31日に青葉小学校と上野幌小学校が閉校となり、同年4月1日に新設小学校が開校することについて、札幌市立学校設置条例の一部を改正することが、平成30年第3回定例会市議会の本会議において可決されました。

委員の交代について

年度途中ではありますが、部会委員の交代がありましたので、全委員を紹介します（※下線は今回新たにご就任いただいた委員です）。

岩井陽生	青葉小学校 P T A	会長	
大嶋稔康	青葉小学校	校長	
北嶋雅見	道銀地域総合研究所	業務部長	司会委員
佐藤ひとみ	青葉小学校 P T A	会計	
塩川直美	上野幌小学校 P T A	元副会長	
高村誠	美しが丘緑小学校	校長	統合経験者
千葉千佳	青葉町自治連合会	主任委員	
土田義也	青葉町自治連合会	会長	部会代表
鳥本優至	青葉町自治連合会	事務総長	
野原明美	上野幌小学校	校長	
橋本容子	上野幌町内会	女性部長	
村田勝雄	上野幌町内会	前副会長	
谷内政昭	青葉小学校 P T A	副会長	
山越麻希子	上野幌小学校 P T A	元副会長	
吉岡敏幸	厚別南町内会連合会	副会長	部会代表
吉村貴恵	上野幌小学校 P T A	副会長	

（五十音順・敬称略）

第11回の部会について

第11回部会は、平成31年2月中旬頃の開催を予定しており、校名に関する意見書手交式の報告や、青葉小学校跡活用の具体的な検討体制について協議を行います。

■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

■ 小規模校検討委員会に関すること <小規模校検討委員会事務局> ■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V 北2条ビル5階

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ 部会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>